下関市学校給食における異物混入防止マニュアル

下関市教育委員会

目 次

ページ

I	異物混入防止対策	
1	施設・設備での対策	1
2	食材購入における対策	1
3	検収での対策	1
4	調理過程での対策	2
5	調理過程以外での注意点	3
II	給食に異物が入っていた場合の対応	
1	異物の発見	4
2	異物混入への対応	5
	－危険物・大量混入の恐れがある場合－	
3	異物混入への対応	7
	－非危険物・大量混入の恐れがない場合－	
保護者宛	文例 1	9
保護者宛	文例 2	10
連絡先		11
	【報告様式 4】異物混入事故状況報告書	12

更新版数	更新日	更新者名	主な更新内容
第 1 版	平成 28 年 4 月 22 日	学校保健給食課	新規作成
第 2 版	平成 29 年 4 月 25 日	学校保健給食課	様式名称変更

I 異物混入防止対策

1 施設・設備での対策

- ①調理室内は、関係者以外の立ち入りを原則禁止する。
- ②調理器具・食器等を定期的に更新し、破損による給食への混入を未然に防止する。
- ③ねずみやはえ、ごきぶり等衛生害虫の侵入を防止するため、網戸は定期的に点検し、必要に応じて補修する。また、施設内の衛生管理に努め、生ゴミや残渣を長時間放置しない。
- ④殺そ剤や殺虫剤を使用する場合は、食品を汚染しないよう十分注意する。

2 食材購入における対策

- ①施設の衛生面及び食品の取扱いが良好で衛生上信用のおける食品納入業者を選定する。
- ②食品納入業者との連絡を密にし、学校給食の意義、役割及び衛生管理のあり方についての意見交換や講習会で啓発する。
- ③原材料及び製造品について、製造業者もしくは食品納入業者が定期的に実施する微生物及び理化学検査の結果を必要に応じて提出させる。

3 検収での対策

- ①検収する部屋は十分な照度を確保する。
- ②海藻類・しらす干し等海産品への釣り糸、網、干しカゴ破片等の混入が相次いでいる。検収時には、平らな容器に広げるなどし、目視による点検を行うこと。
- ③野菜類に虫がついている場合には、洗浄作業の見直しを行う等の対策が必要となる場合がある。根元や、葉の裏に虫がついていないか十分に確認すること。また、他校で前日に同じ食材を使用している場合には、状態を尋ねる等情報共有に努めること。

4 調理過程での対策

(1) 着衣等の点検

- ①清潔な白衣・帽子・マスクをきちんと身につける。
- ②白衣等に毛髪や糸くず等の異物が混入しないよう2人1組で相互に点検する。
- ③ポケットのない白衣を着用する。また、調理に必要なものは、調理室に持ち込まない。

(2) 器具・機器の点検

- ①まな板や包丁、野菜切り機、ザル、スパテラ等、使用する器具・機器は、調理開始前後に刃の欠け・ザルの網離れ、スパテラのささくれ、ねじの緩み等がないか十分に確認する。また数量についても確認する。

(3) 調理過程における注意点

- ①缶切りを使用して、缶詰を開ける際は、作業箇所をよく見て、切れ端の発生がないか確認しながら作業する。途中で缶切りが滑った場合や順調に切れない場合は特に注意する。缶の蓋は切り離さない。開封後は、食材をボールやバットに移し、缶の切れ端が混入していないか、食材由来によるカビや異物の混入がないかを確認する。
- ②袋に入った食材を開封する際は、はさみを使用し、切断面や切れ端の混入するおそれが少ない場所から切る。また、切れ端は切り離さない。開封後の袋は、切断面の断面がぴったり合うか目視で確認する。特に袋に背合わせがある場合には、背合わせの部分についても確認する。開封時に手袋を使用する場合には、密着手袋を使用する。開封後は、食材をボールやバットに移し、袋の切れ端が混入していないか、食材由来によるカビや異物の混入がないかを確認する。
- ③ビンを使用前後に欠けた部分がないか確認する。また、作業中に破損が疑われる事態があった場合には、その都度確認する。新たにビンを開封する場合には、開封前に食材由来の異物混入

等がないか、よく確認する。また、プルタブが混入しないように開封し、作業終了後、開封数とプルタブの数を合わせる。

④プラスチック容器は、使用前後に欠けた部分がないか確認する。また、作業中に破損が疑われる事態があった場合には、その都度確認する。

⑤経験上、異物混入の恐れが高い食材については、水洗いする際や湯でもどして使用する際に、複数人で虫等異物の混入がないことを確認しながら作業する。干ししいたけやブロッコリー、はなっこりー、わかめ等、以前に虫等異物混入が認められた食材については、以前の事例を踏まえ、洗浄方法や確認方法を工夫する。(例：干ししいたけは裏を上に向けて確認しながら切る。ブロッコリーは、花蕾を下にして振り洗いをし、念のため第1槽のすすぎ水を白い皿に取るなどして虫がいないか確認する。虫がいた場合には、3回洗浄後、切り込み作業の後で再度、振り洗いをする等洗浄を徹底する。なお、徹底した洗浄を行っても、なお虫が複数確認された場合には、使用の中止も検討する。イリコやちりめんには、漁網の繊維や釣り糸等の異物が混入していることが多い。使用前に平らなバット等に広げ、異物がないことを確認してから使用する。)

5 調理過程以外での注意点

(1) 掲示物に対する注意

①調理室内には異物混入防止の観点から掲示物を貼らないようにする。休憩室内に貼る場合には、画鋲や小さなマグネットは使用しない。落下しにくいテープ等で留める等工夫する。

(2) 教室内での注意

①教室内での混入を防ぐため、画鋲、ホッチキスの針などは、整理整頓を心がけ、床等に散乱しないように指導する。特に図工の授業の後はきれいに掃除をし、配膳前に机の上がきれいになっていることを確認する。

②給食当番は、白衣・帽子・マスクを着用し、配膳の過程で異物が混入しないよう十分注意する。

③針などの危険物が給食に混入した場合に危険性について指導する。

II 給食に異物※が入っていた場合の対応

※児童・生徒へ給食として提供する前に取り除けたものを除く。

1 異物※の発見

※異物の種類により対応を判断する。

(1) 危険物の場合

包丁の刃先、調理器具の部品、通常口に含むことを想定していない薬剤、ゴキブリなど極めて不潔感のある虫等、児童・生徒が口にした場合、健康を害する恐れがあると判断される異物が混入していた場合、学校長は、当該発見学級を含む全クラスの給食について、当該献立を食べさせないことを検討する。また、異物が入った給食については、そのままの状態を保全する。

(2) 非危険物の場合

①大量に混入している恐れがある場合

毛髪や虫、食材の包装材料と思われる切れ端等の異物が発見された場合は、他の学級にも混入していないか確認する。

複数の学級で発見された場合は、全クラスの当該献立について、食べさせないことを検討する。また、異物が入った給食については、そのままの状態を保全する。

②大量混入の恐れがない場合

毛髪や虫、食材の包装材料と思われる切れ端等、不愉快であり、衛生的ではないが、健康を害する恐れが低いと思われる異物の単件混入の場合は、異物をその周辺ごとに取り除いて配膳する。配膳後に発見された場合には、交換する。なお、異物を取り除けない場合には、他の釜の献立を調整できないか検討する。

他の釜の献立を調整できない場合には、当該献立について、食べさせないことを検討する。また、異物が入った給食については、そのままの状態を保全する。

2 異物混入への対応 - 危険物・大量混入の恐れがある場合 -

(1) 連絡体制

①児童・生徒 ⇒ 担任・給食主任・栄養職員 ⇒ 学校長・教頭
⇒ 学校給食共同調理場（以下「場」という。）又は学校保健給食課

担任等は、危険物・大量混入の恐れがある異物混入の報告を受けたときは、直ちに当該献立について食べるのを止めるよう指示し、学校長に報告する。

学校長は、全クラスの当該献立について提供を中止するよう指示する。また、受配校の場合は場に、単独調理校の場合は学校保健給食課に一報を入れる。

学校保健給食課長は、異物の混入状況により、全市的な対応が必要な案件であると疑われる場合には、直ちに他の場・単独調理場に連絡して、当該献立について提供中止の措置を取る。

学校長は、後日、【学校（共同調理場）における異物混入事故状況報告】により場又は学校保健給食課に報告する。

②学校保健給食課 ⇒ 山口県学校安全・体育課

学校保健給食課長は、平成28年2月18日付け平27教安体第800号に基づき、県への報告が必要な事案については、【学校（共同調理場）における異物混入事故状況報告】により山口県に報告する。

③学校保健給食課 ⇒ 下関保健所

学校保健給食課長は、異物の混入経路が判明しない場合や、食材への混入であると疑われる場合には、下関保健所への報告を検討する。

(2) 児童・生徒への対応

学校長は、児童・生徒の健康観察を行う。

(3) 保護者への説明と謝罪

① 自校調理校の場合

給食中止又は献立の一部を中止した場合、自校調理校の学校長等は、児童・生徒への説明を行うとともに学校保健給食課に報告する。また、保護者に連絡する文書を作成し、学校から配布する。異物の混入があった児童・生徒やその保護者に対しては、異物混入の事実について、迅速かつ誠意を持って状況の説明と謝罪を行う。

② 場受配校の場合

給食中止又は献立の一部を中止した場合、場長は、対象の場受配校長及び学校保健給食課に報告する。場受配学校長は、児童・生徒に説明を行う。学校保健給食課長は、保護者に連絡する文書を作成し、対象の受配校長に配布を依頼する。異物の混入があった児童・生徒やその保護者に対して、場長は、学校長等と相談のうえ、誠意を持って状況の説明と謝罪を行う。

(4) 報道機関への対応

給食への異物混入により児童・生徒に健康被害が生じた場合等重大な異物混入事案が発生した場合、学校保健給食課長は、公表の必要性について検討する。公表の判断は、保健所等関係部署と協議のうえ決定する。公表すると判断した場合、若しくは新聞等で報道されることが想定される場合の対応窓口は、学校保健給食課及び担当教育支所とする。

報道機関へ公表する内容は、山口県教育委員会、下関保健所（必要に応じて下関警察署）及び全小・中学校長に提供する。

また、混入原因がごはん、パンを製造する委託会社にあると考えられる場合には、山口県学校給食会にも提供する。

3 異物混入への対応 - 非危険物・大量混入の恐れがない場合 -

(1) 連絡体制

①児童・生徒 ⇒ 担任・給食主任・栄養職員 ⇒ 学校長・教頭
⇒ 学校給食共同調理場（以下「場」という。）又は学校保健給食課

担任等は、非危険異物等の給食への混入報告を受けたときは、一旦当該献立について食べるのを止めるよう指示し、学校長に報告する。

学校長は、他のクラスの状況を確認し、大量混入の恐れがないことを確認する。大量混入の恐れがない場合には、異物をその周辺ごと取り除いて配膳する。配膳後に発見された場合には、交換する。取り除けない場合には、他の釜の献立を調整できないか検討する。

受配校の場合は場に、単独調理校の場合は学校保健給食課に一報を入れる。場長は、他の受配校において異物混入事案が発生していないことを確認する。

学校長は、後日、【学校（共同調理場）における異物混入事故状況報告】により場又は学校保健給食課に報告する。

②学校保健給食課 ⇒ 山口県学校安全・体育課

学校保健給食課長は、平成28年2月18日付け平27教安体第800号に基づき、県への報告が必要な事案については、【学校（共同調理場）における異物混入事故状況報告】により山口県に報告する。

③学校保健給食課 ⇒ 下関保健所

学校保健給食課長は、異物の混入経路が判明しない場合や、食材への混入であると疑われる場合には、下関保健所への報告を検討する。

(2) 児童・生徒への対応

学校長は、児童・生徒の健康観察を行う。

(3) 保護者への説明と謝罪

① 自校調理校の場合

学校長等は、異物の混入があった児童・生徒やその保護者に対して、異物混入の事実について、迅速かつ誠意を持って状況の説明と謝罪を行う。

② 場受配校の場合

異物の混入があった児童・生徒やその保護者に対して、場長は、学校長等と相談のうえ、誠意を持って状況の説明と謝罪を行う。

<保護者宛 文例 1 >

年 月 日

保護者 様

下関市立〇〇学校

校長 〇〇 〇〇

学校給食への異物混入について

・・・時候の挨拶・・・

さて、学校給食において、下記のように異物の混入がありましたので、お知らせいたします。幸い、児童（生徒）に怪我等はありませんでしたが、児童（生徒）、保護者の皆様に不快な思いや、ご迷惑・ご心配をおかけしましたことに対して深くお詫び申し上げます。

安全・安心な給食となるよう努力して参りましたが、今後もさらに尽力し、異物混入等が起こらないようにしたいと考えております。

記

1 給食提供日 平成 年 月 日

2 対象の献立 〇〇スープ

3 異物と混入状況

<異物> 長さ約〇mm、幅〇mm、厚さ〇mm

(何か判別できる場合は例「青色プラスチック」等)

<混入状況>

・(発見の状況、該当児童数や学級数、健康被害、混入経路等)

4 学校の対応

・配缶の中止、教室での配膳・喫食の中止など全校や学級への指示内容

・再発防止のための対策(例:今後このようなことが二度と起きないように給食調理員に指導した。教職員に対して食の安全への配慮と衛生管理体制の再確認をした。等)

<保護者宛 文例2>

平成 年 月 日

保護者 様

下関市立〇〇学校

校長 〇〇 〇〇

学校給食への異物混入について

・・・時候の挨拶・・・

さて、本日の学校給食において、1名の児童（生徒）の〇〇スープに、長さ約〇mmの〇〇が〇個見つかりました。安全を第一に考え、給食の喫食途中ではありましたが、児童（生徒）への提供を中止しました。児童（生徒）、保護者の皆様に不快な思いや、ご迷惑・ご心配をおかけしましたことに対して深くお詫び申し上げます。

安全・安心な給食となるよう努力して参りましたが、今後もさらに尽力し、異物混入等が起こらないようにしたいと考えております。

<連絡先>

○下関市教育委員会教育部 学校保健給食課

電話 2 3 1 - 1 3 4 4

FAX 2 2 2 - 8 3 3 3

○下関市立南部学校給食共同調理場

電話 2 6 7 - 2 0 4 4

FAX 2 6 7 - 2 2 8 0

○下関市立中部学校給食共同調理場

電話 2 5 7 - 1 5 7 8

FAX 2 5 7 - 1 7 3 1

○下関市立豊田町学校給食共同調理場

電話 7 6 6 - 0 0 7 6 (FAX 兼用)

○下関市立豊浦町学校給食共同調理場

電話 7 7 4 - 3 3 9 0

FAX 7 7 4 - 3 5 7 1

○下関市立黒井学校給食共同調理場

電話 7 7 2 - 0 2 9 0

FAX 7 7 2 - 0 5 8 6

○下関市立滝部学校給食共同調理場

電話 7 8 2 - 0 0 3 5

FAX 7 8 4 - 0 4 5 5